

研究集会 「偏微分方程式と現象 :

PDEs and Phenomena in Miyazaki 2006 (略称 : PPM2006) 」

日時 : 2006年11月17日(金) ~ 11月18日(土)

会場 : 宮崎大学工学部総合研究棟2階プレゼンテーション室(D204)

案内 : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/~yazaki/research/ppm/ppm2006.html>

プログラム

11月17日(金)

午後の部

14:30-15:20 内藤 雄基 (神戸大学)

「Sobolev 臨界指数放物型方程式の解の爆発」

15:40-16:30 野原 勉 (武蔵工業大学)・有本 彰雄 (武蔵工業大学)

「高次摂動項を持った非線形 Schrödinger 方程式の定性的・定量的解析」

16:40-17:30 宮崎 倫子 (静岡大学)

「常微分方程式の解の漸近挙動における時間遅れの影響について」

11月18日(土)

午前の部

10:00-10:50 高橋 太 (大阪市立大学)

「 p -調和関数の特異集合の p -容量は消失する」

11:00-11:50 関口 昌由 (木更津工業高等専門学校)

「三体問題の近況報告」

午後の部

13:30-14:20 上山 大信 (明治大学)

「ある化学反応沈澱系におけるパターン形成：
モデリングおよびシミュレーション」

14:30-15:20 佐藤 友彦 (大阪大学)

「2次元有界領域における平均場方程式の解の漸近的非退化性」

15:40-16:30 斎藤 宣一 (富山大学)

「走化性放物型系に対する有限要素近似」

16:40-17:30 福本 康秀 (九州大学)

「Kelvin-Benjamin の変分原理と渦輪の運動速度」

本研究集会は、以下の科学研究費補助金 (基盤 C(2) : 辻川、仙葉 / 若手 B : 大塚、北、矢崎)

課題番号	研究代表者	課題名
17540125	辻川 亨	反応拡散方程式の縮約系とそれに関わる漸近解析
18540189	仙葉 隆	高次元領域における走化性方程式系の爆発解の挙動に関する研究
16740103	大塚浩史	非線形偏微分方程式の双対構造と補償されたコンパクト性
16740079	北 直泰	非線形シュレーディンガー方程式の初期値問題における解の漸近挙動
17740063	矢崎成俊	界面運動、生物モデルの数理解析、及び泡の運動、結晶成長のモデル構築

の援助を受けています。

世話人： 辻川 亨、仙葉 隆、大塚浩史、北 直泰、矢崎成俊 (宮崎大学)
連絡先： 辻川 亨 (Tohru Tsujikawa)
〒 889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学工学部材料物理工学科
E-mail : tujikawa@cc.miyazaki-u.ac.jp
TEL : 0985-58-7381 / 0985-58-7288 (事務室) & FAX : 0985-58-7289